

職場体験 感想文コンクール2024

タイトル	笑顔ももらった職場体験	作品番号	242
学校名	新庄市立日新中学校	氏名	ハヅレ 梅子

私は中学生になって職場体験に行くことが楽しみでした。なぜなら私の父と母は学校の先生で、家では学校であった楽しい話をいろいろ聞かせてくれるからです。私も学校で仕事をしてみたい気持ちが強くなり、とても楽しみにしていました。私の夢は小学校の先生です。父は特別支援学校の先生をしています。今回、父の学校に職場体験に行かせていただくことが決まりました。特別支援学校は、私の通った小学校とは違うので楽しみだけでなく、不安な気持ちもありました。

体験が始まると私の通った小学校とは違うことがたくさんありました。例えば、朝の会です。私の通った小学校は、いすにすわって先生の話を聞くだけでした。でも、特別支援学校では、前にでて一人ずつ発表したり、一人ずつ名前を書いたり、私の通った小学校とは全く違う朝の会で驚きました。そんな特別支援学校で私は、先生のすごさを感じました。その中でも特に印象的だったのは、先生が話すときに子どもに伝わりやすいように話したり、タアレットで作ったルールで何度も確認したりしていたことです。他にも読み聞かせの時、ただ読むだけでなく、アドリブをいれていたり、はなまるの磁石をつけて、たくさんの方々があってすごいいと思いました。

職場体験で私はピアノをひいてリトミックをする時間を作っていたことができました。家で練習をしました。

子どもたちの動きを想像しながらイメージしてピアノをひきました。実際に子どもたちの前に立ちピアノをひくと、声か小さくなってしまい子どもの様子を見る余裕がありませんでした。楽しかったのかなと不安になる気持ちもありましたか、一緒に勉強した子どもが7日で7番楽しかったことは「おんがく。」と発表してくれました。それを聞いて、とてもうれしかったです。

今回の私の目標は「子どもたちをたくさん笑顔にする」でした。当日の朝、子どもたちと会った瞬間から笑顔でタッチしてくれて、私が笑顔になりました。笑顔にすることよりも、私が笑顔をもらうことの多い体験でした。

7日しかない職場体験だったけど、先生の仕事は子どもの気持ちを考えていないとできない仕事だと感じました。とても良い体験をさせていたたくことができました。

私は夢を叶えるために日頃から人の気持ちを大切に生活していきたいです。そして、次に子どもたちに出会ったときには笑顔をもらうだけでなく、少しでも子どもたちを笑顔にできるようになりたいです。